

(別添2-10)

通信学習実施計画書

1 講義を通信の方法によって行う地域

- ・大阪府全域

2 添削指導の方法

- ・自宅学習機関の質問方法
質問は講義時間に行うものとし、電話での個別対応は実施しません。
添削担当講師：磯田 登志美
- ・添削後、講義での要点の説明および質疑応答
- ・解答・解説の配布
- ・不合格者には、講義終了後個別に質疑応答による添削指導
- ・合格点に達するまでの再課題の実施

3 科目別通信学習時間

科目番号・科目名	通信学習時間	通信形式で実施できる上限時間 (別紙3より)
(2) 介護における尊厳の保持・自立支援	5時間	5時間
(3) 介護の基本	3時間	3時間
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携	6時間	7.5時間
(5) 介護におけるコミュニケーション技術	3時間	3時間
(6) 老化の理解	3時間	3時間
(7) 認知症の理解	3時間	3時間
(8) 障がいの理解	0時間	1.5時間
(9) ところとからだのしくみと生活支援技術	12時間	12時間

4 通信学習課題配布・提出標準日程

添削課題は3回に分けて配布します。

なお、第1回目の配布は開講式の日に手渡します。第2回目の配布は約2週間(14日)後の通学時に、第3回目の配布も同様の日程の取り扱いとなります。

5 通信学習課題

- ① 課題種類数 1種類
- ② 出題形式
A 科目:(2)(3)(4)(5)(6)(7)
選択問題 20問(配点2点×20問=40点)
○×問題 10問(配点2点×10問=20点)
記述式問題 10問(配点4点×10問=40点)
全問正解 100点満点
B 科目:(9)
選択問題 65問(配点2点×65問=120点)
○×問題 21問(配点2点×21問=42点)

記述式問題 32問 (配点4点×32問=128点)
全問正解 300点満点

- ③ 出題数
- | | |
|--------------------------|------|
| 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」 | 40問 |
| 「(3) 介護の基本」 | 40問 |
| 「(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携」 | 40問 |
| 「(5) 介護におけるコミュニケーション技術」 | 40問 |
| 「(6) 老化の理解」 | 40問 |
| 「(7) 認知症の理解」 | 40問 |
| 「(9) こころとからだのしくみと生活支援技術」 | 118問 |

6 評価基準

得点の60%以上を合格とします。

基準を満たさなかった場合は、再評価を実施するため、別途添削課題を配布します。

なお、再提出日は、配布日から起算して2週間以内とします。

7 通信添削業務受託事業者

(1)

(2) 委託先研修機関

法人名称	株式会社〇〇商事	
所在地	〒000-0000 大阪市中央区・・・	
連絡先	06-0000-000	
ホームページ	http://	
指定番号	大阪府知事指定 第〇〇号	
研修実績	研修実施期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日
	コース名	
	修了者数	名
委託契約期間	平成 年 月 日 から 平成 年 月 日まで	

※委託期間は1事業年度内(4月1日から翌年3月31日までの間)とすること。